

土地改良事業計画設計基準

設計「水路トンネル」

新旧対比表

平成 2 5 年 3 月

土地改良事業計画設計基準 設計「水路トンネル」 新旧対比表

改 正	現 行	備 考
<p>1 基準の位置付け</p> <p>この基準は、国営土地改良事業の実施に当たり水路トンネルの設計を行う際に遵守しなければならない基本的な事項を定めるものである。</p> <p>2 トンネルの定義</p> <p>この基準でいう水路トンネルは、農業用排水の送水の目的で一般的な工法で建設するトンネルをいう。</p> <p>3 設計の基本</p> <p>設計は、トンネルに必要な機能を確保し、安全で、かつ、管理や施工に関する条件を勘案して経済的な施設となるよう<u>行うとともに、トンネル周辺の環境との調和に配慮しつつ行わなければならない。</u></p> <p>4 関係法令の遵守</p> <p>設計に当たっては、関係する各種の法令を遵守しなければならない。</p>	<p>1 基準の位置付け</p> <p>この基準は、国営土地改良事業の実施に当たり水路トンネルの設計を行う際に遵守しなければならない基本的な事項を定めるものである。</p> <p>2 トンネルの定義</p> <p>この基準でいう水路トンネルは、農業用排水の送水の目的で一般的な工法で建設するトンネルをいう。</p> <p>3 設計の基本</p> <p>設計は、トンネルに必要な機能を確保し、安全で、かつ、管理や施工に関する条件を勘案して経済的な施設となるよう<u>行わなければならない。</u></p> <p>4 関係法令の遵守</p> <p>設計に当たっては、関係する各種の法令を遵守しなければならない。</p>	

土地改良事業計画設計基準 設計「水路トンネル」 新旧対比表

改 正	現 行	備 考
<p>5 設計の手順</p> <p>設計はトンネル周辺の自然的、社会的諸条件をもとにして、骨格となるものから順次細部のものへと適切かつ合理的な手順で行わなければならない。</p> <p>6 調 査</p> <p>設計に関する資料を得るため、トンネル周辺の自然的、社会的諸条件について適切な調査を行い、これらを適確に把握しなければならない。</p> <p>7 基本設計</p> <p>把握したトンネル周辺の自然的、社会的諸条件をもとにして、細部の設計の基礎となる基本設計を行わなければならない。基本設計においては、トンネルの位置や線形に関する基本的な諸元を決定する。</p> <p>8 細部設計</p> <p>基本設計において定めたトンネルの基本的な機能に関する条件及び諸元に基づき、細部設計を行う。細部設計は水理的、構造的諸条件を満足するとともに、トンネル全体として調和のとれたものとなるように行わなければならない。</p>	<p>5 設計の手順</p> <p>設計はトンネル周辺の自然的、社会的諸条件をもとにして、骨格となるものから順次細部のものへと適切かつ合理的な手順で行わなければならない。</p> <p>6 調 査</p> <p>設計に関する資料を得るため、トンネル周辺の自然的、社会的諸条件について適切な調査を行い、これらを適確に把握しなければならない。</p> <p>7 基本設計</p> <p>把握したトンネル周辺の自然的、社会的諸条件をもとにして、細部の設計の基礎となる基本設計を行わなければならない。基本設計においては、トンネルの位置や線形に関する基本的な諸元を決定する。</p> <p>8 細部設計</p> <p>基本設計において定めたトンネルの基本的な機能に関する条件及び諸元に基づき、細部設計を行う。細部設計は水理的、構造的諸条件を満足するとともに、トンネル全体として調和のとれたものとなるように行わなければならない。</p>	

土地改良事業計画設計基準 設計「水路トンネル」 新旧対比表

改 正	現 行	備 考
<p>9 水理設計</p> <p>トンネルは、水理特性から無圧トンネルと圧力トンネルに分類され、それぞれ確保すべき流量が安全かつ水理的に安定した状態で流下するよう設計しなければならない。</p> <p>10 無圧トンネルの構造設計</p> <p>無圧トンネルは、外圧に対して安全な構造としなければならない。</p> <p>11 圧力トンネルの構造設計</p> <p>圧力トンネルは、内水圧及び外圧に対して安全で、かつ、水密性及び耐久性に優れた構造としなければならない。</p> <p>12 トンネルの施工</p> <p>トンネルは、工事規模、地質条件及び現場条件等に応じて、技術的、経済的観点から安全かつ合理的な施工が行えるように設計しなければならない。</p> <p><u>13 管 理</u></p> <p><u>トンネルの機能が十分発揮されるよう維持管理体制を確立し、適切な管理を行うことが必要である。</u></p>	<p>9 水理設計</p> <p>トンネルは、水理特性から無圧トンネルと圧力トンネルに分類され、それぞれ確保すべき流量が安全かつ水理的に安定した状態で流下するよう設計しなければならない。</p> <p>10 無圧トンネルの構造設計</p> <p>無圧トンネルは、外圧に対して安全な構造としなければならない。</p> <p>11 圧力トンネルの構造設計</p> <p>圧力トンネルは、内水圧及び外圧に対して安全で、かつ、水密性及び耐久性に優れた構造としなければならない。</p> <p>12 トンネルの施工</p> <p>トンネルは、工事規模、地質条件及び現場条件等に応じて、技術的、経済的観点から安全かつ合理的な施工が行えるように設計しなければならない</p>	